

○ 有松まちづくりの会 役員会 (9月28日)

①重伝建選定後の取り組みについて

1) 有松町並み相談会の設置

先月重伝建推進委員会から提案された相談会設置が決まりました。今後、活動内容や構成メンバー等の詳細について、重伝建推進委員会と歴まち室を主体に進めることになりました。

②第40回 全国町並みゼミ全国大会の開催 (平成29年秋予定)

第1回を開催した有松と足助を主体に、行政の協力を得て開催する方向で決まりました。

③名鉄鎌研踏切の歩道設置が来年3月に完成予定 (有松学区区政協力委員会からの報告)

名古屋市緑土木事務所から、鎌研踏切西側の歩道設置についての連絡がありました。

それによると、10月から準備工事(通信線移設工事等)を開始し、来年1月から拡幅及び歩道設置の工事に入り、3月に完成する予定になっています。

歩道開通記念式典開催については、平子学区と検討中です。

○ 有松桶狭間観光振興協議会 構成団体代表者会議 (9月23日)

重伝建選定後を視野に入れ、当協議会の運営について、構成団体代表者の意見を聞きました。

<代表者意見の1部>

- ・行政に対し地域代表団体である点を活かして活動を。
- ・観光に関し情報を収集し、ソフトの発信とリーダーシップを。
- ・有松・桶狭間・豊明のトライアングル観光が出来ないか。
- ・21ビジョンの具体化が必要。

○ 講座「有松学入門」終わる (9月17日)

8月20日から毎週木曜日・計5回開催された講座の最終は「有松の魅力を語る」のお話が緑生涯学習センターで開かれました。

第1回の町の成り立ちなど有松の概要説明から、有松東海道を2回・4時間に亘って行われた現地学習、板締め絞りの手拭い実習を行い、有松のことに詳しくなった受講者の皆さんは、最終回で有松の食べ物や祭りなどの風習、戦時中の様子などを有松あないびとの会会長の成田治さんから聞き、生きている町・有松を実感されたようで、「有松を愛する地元の方がたくさんいらっしゃるのも有松の魅力」との声も聞かれました。

なお、大高、鳴海地区についても、同様の講座が行われる予定です。



長老の成田さんの話を聞く

○ 第2回 有松絞りアーカイブ開催される（8月29日）

<講演>

有松で生まれ育った山田峯夫さんの有松絞りにまつわるお話に耳を傾けました。

- ・天明元年（1781年）絞りは尾張藩の保護となる。その時の上納金は、1反あたり銀2朱（現在の価値で1万円程度）であった。
- ・天明4年（1784年）の大火から20年で立ち直り、塗籠漆喰塗瓦葺の町屋の町並みが出来た。
- ・明治に絞り専売権が消滅し、販売不振になった。
- ・鈴木金蔵の嵐絞りの発明により、復活していった。
- ・大正初めに御大典絞りが売られ大好評でした。
- ・昭和11年、神戸の商社の仲介で、アフリカのガーナへ有松絞りを輸出したが、柄が現地に合わず、失敗。
- ・昭和23年、ガーナに国有綿の指定加工方式にて輸出。約1年で90万ヤード（82万メータ）出荷。為替レート変更で採算合わず中止。



輸出された絞りのサンプル

<絞り鑑賞会>

村瀬裕さんから、昔の写真（竹田庄九郎の碑が正面に建つ有松絞商工同業組合の事務所、有松裏駅、絞りまつり等）や輸出された絞りの絵柄や絞り染めのサンプルを映像で紹介されました。また、輸出されたサンプルも会場に展示され、その染め上りの凄さに驚かされました。なお、参加は約50名でした。

○ 普通救命講習会開かれる（9月12日）

有松学区では、「助かるはずの命」を救うための人工呼吸やAEDの取り扱いおよび応急手当に関する知識の取得を目的とした普通救命講習会が行われました。

今年は午前と午後の2回開催され、あわせて19名が参加し、有松消防団員から指導を受けました。

心肺蘇生講習は、3班に分かれ、心肺停止の認識法と通報手配、心肺蘇生（胸骨圧迫、人工呼吸、AED操作）の訓練でした。心肺が蘇生しない場合は、心肺蘇生を救急隊員が到着するまで続けることが大事とのこと。この心肺蘇生法は簡単そうに見えましたが、実際やってみると緊張のためか手順を間違える場合があり、何度も最初からやり直し、身につけていました。

このあと、応急手当の止血法、三角巾の使い方など行い、トータル3時間のカリキュラムでした。そして訓練成果の試験があり、全員が救命技能を修得した「修了証」をいただきました。

最後に有松消防団の普及員から「人の命を助けるためには、ためらわずに勇気を持って行動して下さい」との訓話がありました。



講習会風景

○ 棚橋邸 レンタル座敷として貸し出される (8月30日)

棚橋邸が写真撮影会場として、初めて一般に貸し出されました。いきさつは、ホームページ『有松のまち』の「問い合わせ」に写真撮影ができる町屋がないかと問いがあり、棚橋邸を紹介して実現したものです。

絞りの浴衣を着たモデルを、3人の個人カメラマンが座敷のいろいろの場所でいろいろのポーズをとらせ、パシャリパシャリと数時間かけて何枚も撮影していました。

カメラマンに町屋での撮影はどうかと聞いたところ「なかなか感じが出ていて、いい写真が撮れた。持ち帰って色々な場所で発表するつもりです」と、答えられました。



棚橋邸での撮影風景

○ ご長寿お祝い品のお届け (9月13日前後)

敬老の日になみ、有松学区のお年寄りに各町内会経由でお祝い品が届けられました。今年のお祝い品は、例年に増して上出来な巨峰ぶどうで、大変喜ばれました。

有松学区のお年寄り(75才以上)は1026名おられ、今年初めて千人を超え、住民比率で9%となりました。全国平均は12%ですので、有松は多少若い町といえます。

なお、100才以上のご長寿の方は、5名おられます。

○ 島原高校卒業生 有松を見学 (9月16日)

長崎県島原高校を50年前卒業した同窓生が有松を見学しました。

島原高校同窓会が名古屋で開かれることになり、同窓生の山村幸雄さん(有松あないびとの会会員、生山在住)が島原とよく似た有松の町並みの見学を勧め、実現したものです。

ガイドは当然山村さんで、落ち着いた町並みを有松と島原を比較しながら説明し、ゆっくりと散策しました。見学の皆さんは、江戸時代に庶民が力をつけ、特色がある町並みが出来たことに共感していました。また、伝統ある有松絞りに強い関心をもって帰られました。



<有松と島原の類似点>

- ・誕生 有松集落誕生(1608年) 島原城築城(1618年)
- ・災害 有松村の大火(1784年) 雲仙岳噴火(1792年)
- ・鉄道 有松裏駅開業(1917年) 島原湊駅開業(1913年)
- ・重伝建 有松地区(2016年予定) 雲仙市神代小路(2005年)

○ 無形民俗文化財「有松山車祭り」の行事予定 (10月3日・4日) P-4

10月3日(土) 前夜祭

- 19:00 献灯祭(天満社に提灯を捧げ、出御でいただいた御幣を梵天先端に掲げ、神事開始)
- 19:30 御神幸(神の町内視察と安全祈願。祇園寺から1号線脇の秋葉社まで梵天を先頭に歩く)
- 18:00 囃子込み(町内・周辺地域へのまつりのお触れ、山車方と楯方で行う)

10月4日(日) 本祭

- 09:30 出立ちの儀 祭礼本部(中町年行司)
- 10:00 神功皇后車 西町出発 梵天(先端に御幣)を先頭に立てて
- 10:15 唐子車 中町出発
- 10:30 布袋車 東町出発
- 10:40 車切り 松野根橋
- 12:10 からくり実演 絞会館駐車場
- 13:10 車切り 中町交差点(今年は試行)
- 13:30 3町山車のすれ違い 西の端
- 13:50 天満社に向けからくり奉納 切り通し
- 14:15 総参り(天満社に関係者全員が登り、還御の儀で御幣をおかえしする。これで神事修了)
- 18:00 囃し込み(東町は分かれ道前、中町は中川橋、西町は竹田邸前から出発し、祇園寺まで)
- 18:30 夜の山車曳き開始 祇園寺から
- 18:50 からくり実演 絞会館駐車場
- 19:30 車切り 松野根橋
- 20:20 二車分かれの儀(東・西) 絞会館前
- 20:30 二車分かれの儀(中・東) 中川橋
- 20:40 二車分かれの儀(中・西) 竹田邸前
- 21:00 祇園寺到着
- 21:30 総納め 祭礼本部(中町年行司)

○ 催事・行事の予定

- ・10月3・4日 10:00 第1回コスモス絵画展 棚橋邸 絵画の仲間
- ・10月03日(土) 18:00 有松山車祭り 前夜祭(囃子込み 新中、東丘、太子地区)
- ・10月04日(日) 有松東海道青空市 山車祭りのため中止
- " 09:30 有松山車祭り 本祭
- " 14:00 子どもすもう大会他 絞会館駐車場 有松商店会
- ・10月11日(日) 10:00 有松グランドゴルフ大会 有松中学校 区政協力委員会
- ・10月16日(金) 13:00 有中1年生 地域学習(12講座、座学) 有松あないびとの会他
- ・10月18日(日) 09:00 有松東海道青空市 有松商工会周り
- ・10月24日(土) 09:30 緑区民まつり 緑地公園 緑区役所
- ・10月25日(日) 07:30 かえで道清掃 有松まちづくりの会
- " 09:00 戦没者慰霊祭 有松コミセン 有松桶狭間遺族会
- " 14:00 防災講演会「あなたの町と家の防災」 小学校体育館 区政協力委員会
- ・10月30日(金) 08:30 有中1年生 地域学習(12講座、現地学習)

発行者: 竹田嘉兵衛(有松まちづくりの会 副会長)

編集者: 加藤 一成(有松まちづくりの会 広報部員)

T・F 052-623-1676 090-4163-2671 E-mail katoisse@mc.ccnw.ne.jp

: 有松まちづくりの会ホームページ

有松のまち

検索